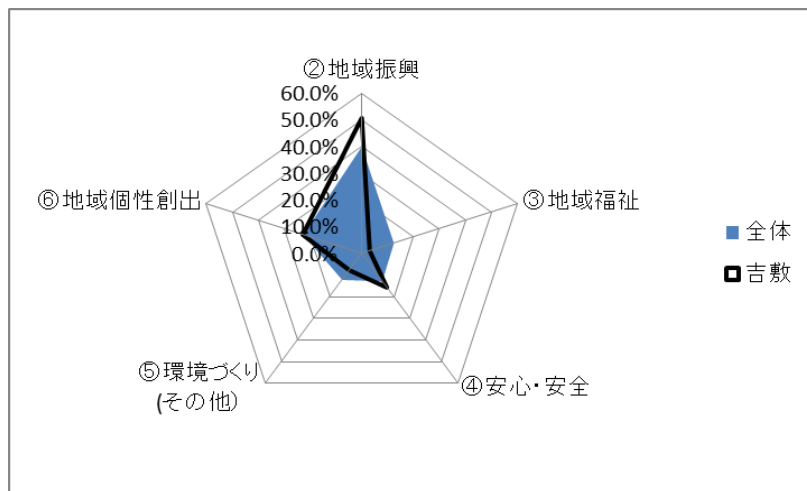


吉敷地区地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(平成30年度)

■地域の情報

地域人口	14,730人	自治会数	16
世帯数	6,295世帯	自治会加入率	77.2%

※数値は、平成31年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	9,892,000 円
交付金決算額	9,892,000 円
その他収入	4,561,275 円
交付金決算額/配分額	100.0%

各分野の決算

①協議会運営	9,410,495 円
②地域振興	2,555,544 円
③地域福祉	155,075 円
④安心・安全	792,824 円
⑤環境づくり(土木工事)	0 円
⑤環境づくり(その他)	389,544 円
⑥地域個性創出	1,149,793 円
決算総額	14,453,275 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

住民一人ひとりが主体的に地域の中でふれあい、ともに支え合う土壌をつくりあげていくことが重要であり「みんなで支え合う 笑顔あふれるふれあいのまち 吉敷」をスローガンに、次の5つの分野に地域課題を整理するとともに、地域としてこれから目指していく将来像を掲げ、課題解決に取り組んでいきます。

- 活動目標1「地域振興」ふれあいと交流による元気で住みよいまち
- 活動目標2「地域福祉」とともに支え合い心豊かに暮らせるまち
- 活動目標3「安心・安全」みんなで協力してつくる安心で安全なまち
- 活動目標4「環境づくり」美しい自然をみんなで守る快適なまち
- 活動目標5「地域個性創出」固有の歴史や文化による個性あふれるまち

■総括

今年度は「吉敷まちづくり計画」をもとに、課題解決に向け地域で活動している様々な団体や行政と連携しながらまちづくりに取り組みました。

ふれあいと交流による元気で住みよいまちづくりを推進するために、「よしきフォトコンテスト」や地域食堂「えがお食堂よしき」を開催するとともに、地域ぐるみによる見守り活動の仕組みづくりにも取り組み、「ふれあいネットワーク協議会」を設置しました。多くの地域住民や地域づくり関係団体の参画による実行委員会は、地域課題の解決に向けての地域での話し合いの場となっています。

また、地域情報を広く地域住民に伝えるため、地域住民と地域づくり関係団体等からの参画を得て設立された広報委員会は、地域の情報の収集や発信に努めながら3年が経過し、この間、地域広報紙やウェブサイトの充実に取り組むとともに、町内会・自治会未加入者にも広報紙を手にとっただけのよう配布先の拡大などにも取り組みました。地域住民からは一定の評価が得られるとともに、昨年度に引き続き山口県公民館報コンクールや全国公民館報コンクールともに優秀賞を受賞することができました。

■分野別事業名

① 協議会運営	協議会運営
② 地域振興	吉敷まちづくり計画の普及・啓発、ふれあいあいさつ運動・ふれあいネットワーク、夏まつり・ふるさとまつり、よしきフォトコンテスト、人材発掘に向けた交流事業、広報活動、人権学習の推進、子ども会活性化
③ 地域福祉	大運動会・多世代交流グランドゴルフ大会、健康づくりの推進
④ 安心・安全	地域防災体制の充実、交通安全・防犯対策、反射鏡・交通安全施設の充実、青少年の健全育成
⑤ 環境づくり	環境づくり、ホタルが飛び交うふるさと吉敷
⑥ 地域個性創出	文化振興

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	ふれあいネットワーク	決算額	100,465円
	目的	地域の見守り・ふれあい活動などの総合調整		
	実施内容	吉敷ふるさとまつりにおいて応募のあった標語の中から、選出された作品を地域広報紙に掲載するなど、ふれあいあいさつ運動を推進しました。毎月の鴻南中学校区地域協育ネット「あいさつの日」に合わせて、吉敷地域では登校時間帯の立哨に取り組みました。また、吉敷地域の見守り活動やふれあいあいさつ運動を総合的に推進する「ふれあいネットワーク協議会」を設立しました。		
	実施時期	通年		
	参加人数	2,000人		
	成果	吉敷ふるさとまつりで「ふれあい標語」を募集し、地域広報紙「ふるさとだより よしき」で紹介するなど、ふれあいあいさつ運動に取り組みました。		
	評価	年間を通して、ふれあいあいさつ運動に取り組むことができました。吉敷地域の取り組みである「あいさつの日」の立哨箇所に工夫を加えながら、活動に参加する人の増加に取り組みました。また、吉敷地域の見守り活動やふれあいあいさつ運動を総合的に推進する「ふれあいネットワーク協議会」を設立し、地域住民や地域づくり関係団体とで協議・検討することができるようになりました。		
	今後に向けて	引き続き、「ふれあいネットワーク協議会」において吉敷地域の見守り活動を総合的に協議・検討し、子どもや高齢者の見守り総決起大会をそれぞれ開催し、吉敷地域の見守り活動を推進します。		
②	事業名	よしきフォトコンテスト	決算額	718,350円
	目的	住民の交流促進		
	実施内容	テーマに沿った写真のコンテスト、写真教室の開催		
	実施時期	通年		
	参加人数	地域住民		
	成果	地域住民や地域づくり関係団体で組織する実行委員会を設立し、その中で、イベント等への参加者の増加を図るとともにより多くの写真の応募につながるよう検討を行い、地域内外から226点の応募作品を集めることができました。また、応募写真をカレンダーにして配布することにより、多くの方々に吉敷地域のことを知っていただくとともに地域の魅力を再発見していただきました。引き続き、より多くの地域住民の参加と新たな交流の創出につながるフォトコンテストの開催に取り組みます。		
	評価	誰もが気軽に参加できるように、初心者を対象にした写真教室を開催するとともに、夏まつりやふるさとまつりの会場に於いて応募ブースを開設するなど、交流したり、ふれあう人々の写真を広く募集することができました。地域内のイベントや交流の場を広く紹介するための応募作品などを活用した「よしきフォトカレンダー」は好評を博しました。		
	今後に向けて	引き続き、地域住民や地域づくり関係団体が集まる実行委員会で、誰もが応募できる「よしきフォトコンテスト」が継続できるように進めていきます。		

事業名	文化振興	決算額	1,149,793円
目的	地域の歴史や文化を活用した個性あふれる地域づくり		
実施内容	地域散策イベントや郷土学習講座の開講、文化財の活用に向けた調査・検討など、文化による地域づくりに取り組みます。案内板の整備や文化遺産資料の収集、文化の保存・継承に取り組みました。		
実施時期	通年		
参加人数	100人		
③ 成果	芸州口の戦いバスツアーには、定員を大きく上回る申し込みがあり好評を得ました。昨年に引き続き、古文書を教材とした「古文書読書会」を開催しました。多くの方に吉敷地域を知り、散策していただくため、地域散策ガイドブック「吉敷さんぼ」の巻末に添付しているマップを看板として拡大し、設置しました。また、案内板の設置にも取り組み、文化の保存・継承に取り組みました。		
評価	芸州口の戦いバスツアーには、定員を大きく上回る申し込みがあり好評を得ました。拡大案内看板の設置や古くなり読めなくなっている案内板のつくり替え設置により、住民に吉敷地域を散策してもらうための基盤づくりができました。		
今後に向けて	芸州口の戦いバスツアーには、定員を大きく上回る申し込みがあり好評を得ました。拡大案内看板の設置や古くなり読めなくなっている案内板のつくり替え設置により、住民に吉敷地域を散策してもらうための基盤づくりができました。		